

7/22 鍵掛峠道路 工事の安全を祈る



広島県庄原市と新屋地区を結ぶ鍵掛峠道路のトンネル北工事が始まるにあたり、安全祈願祭が行われました。町内からは中村町長や山本議長、新屋自治会長の



田谷田邦男さんが参列し、交通の難所解消に向けた大規模な工事が安全に完成することを祈願しました。このトンネルは延長3,475メートルで、工事は令和6年3月に完成予定です。

7/21 ウォーキングフットボールに挑戦!

日南町スポーツ推進委員協議会(足羽覚会長)が主催する「ウォーキングフットボール体験会」が、日南町体育館で行われました。「ウォーキングフットボール(ウォーキングサッカー)」とは歩いて行うサッカーのことで、年齢・性別・経験を問わず気軽に楽しめるニュースポーツです。この日は鳥取県サッカー協会の大部由美さん(サッカー女子元日本代表主将・元日本代表コーチ)が指導に当たり、競技発祥のいきさつやルールについての説明を聞いた後、幅広い年代の男女21人が一緒にゲームを楽しみました。参加者は「歩いてやるのは難しかった」「緊張感があった」などと話していました。



7/7 町外在住者向け『たったもカード』の運用スタート

これまで町民のみの方にお配りしていた『たったもカード』が、町外にお住まいの方にもご利用いただけるようになりました。これにより、町内での経済循環に加え、買い物や食事での更なる経済効果を見込んでいます。



お申込みは、日南町商工会・役場・加盟店(一部店舗を除く)で受付しています。ご親戚・ご友人の方などに、ぜひお知らせください。

7/1~7/10 福万来ホテル乃国2022

新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で中止していた「福万来ホテル乃国」のおもてなしが3年ぶりに行われ、県内外から約900人の来訪がありました。福万来のホテル観賞スポットは全国的に有名になり、遠くは北海道からの来訪もありました。来訪者からは、「やっとホテルに会えた」「見たことのない景色に感動した」などといった声が数多く寄せられました。



7/28 船通山宣揚祭

例年船通山山頂で開催されている「第55回宣揚祭・第47回船通山記念碑祭」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して行われました。今年は島根県奥出雲町の斐乃上荘に祭壇を設けて神事が厳かに執り行われ、船通山登山者の安全と地域の繁栄を祈り、祝詞が捧げられました。



7/24 3年ぶりの開催! 富田杯ソフトテニス大会

新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続いていた富田杯陰陽ソフトテニス大会が3年ぶりに開催されました。当日は天候に恵まれ、町内外から参加した40組・80人による熱戦が繰り広げられました。日南町からは10人の選手が参加し、日頃の練習の成果を発揮していました。



愛鳥週間ポスターコンクールで金賞!



鳥取県が主催する「令和4年度愛鳥週間ポスターコンクール」で日南小の児童8人が入賞し、2年生の金田空音さんが小学生の部で金賞に選ばれました。入賞作品は7月1日から7月10日まで総合文化センターに展示され、その後県内で巡回展示されています。

金田空音さんの作品
入賞者(敬称略)

- 金賞 金田空音(2年)
- 銀賞 飛田悠月(6年)
- 銅賞 中田希一(2年)・飛田悠華(4年)
- 中田結希愛(4年)
- 佳作 仁兒凌太郎(2年)・田中美音(5年)
- 中島尚晴(5年)

7/7 つちやあゆみ木のアート展

美術・木工作家のつちやあゆみさんの展覧会「つちやあゆみ木のアート展 歯車と音の遊園地」が、7月8日から8月21日まで日南町美術館で開催されました。初日の7月8日はオープニングセレモニーとつちやさんによるギャラリートークが行われました。この日は、こども園の園児や関係者などが招待され、つちやさんの説明を聞きながら興味津々な様子で作品を眺めたり、実際に作品に触れたりして、歯車の動きや木が奏でるメロディを楽しみました。



7/28 祝!全国和牛能力共進会へ!

10月6日から鹿児島県霧島市で開催される第12回全国和牛能力共進会の鳥取県最終予選会が鳥取中央家畜市場(琴浦町)で行われました。この大会は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて競う大会で、5年に1度開催されています。種牛の姿・形の良さなど、改良の成果を月齢別に審査する「種牛の部」と、肉質を審査する「肉牛の部」があり、全国から約450頭の牛が集まります。この日の鳥取県最終予選会で、山形美智也さん(上萩山)が出品した「いとはな号」が種牛の部・総合評価群で県代表に選ばれました。これからさらなる調整に力を入れ、全国大会でトップを目指します。



7/28 日南小5年 自然体験学習

日南小5年生の自然体験学習が行われ、多里地区で行われました。この日は好天に恵まれ、新屋地内の土屋で川の生き物の観察や川遊びを行った後、出立山キャンプ場で森の散策やキャンプファイヤーを行いました。児童たちは川で体長約60センチメートルのオオサンショウウオ2匹に遭遇し、大喜びしていました。体験学習の最後は多里地域振興センターでNPO法人日本ハンザキ研究所理事長の岡田純さんによるオオサンショウウオの学習を行い、クイズにも挑戦しました。また、にちなんエコツアーリズム推進協議会から写真家の福田幸広さんが写真を撮影した絵本「オオサンショウウオ」が贈られ、受け取った児童たちはすぐに絵本を開いて見入っていました。



7/13 おいしいトマトを今年も県内外へ出荷 日南トマト出発式

町の特産品「日南トマト」が今年も旬の時期を迎え、初出荷が行われました。昨年はコロナ禍や夏の長雨にもかかわらず、反収は過去最高の9.3トン、販売高も1億7,900万円と上々の出来でシーズンを終えました。今年は天候に恵まれ生育も順調とのことで、日南トマト生産部の岩田真也部長は「過去最高を更新したい。2億円突破を目指す」と意気込みを話しました。「日南トマト」は、今年からふるさと納税の返礼品として選べるようになり、全国へおいしいトマトが届けられます。

